

科目名 (英)	介護過程Ⅰ (Process of Nursing Care Ⅰ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。また、他の領域で学んだ知識と技術を総合して、生活者である利用者支援を行うにあたり、利用者情報から介護の根拠を明確にして、専門職としての生活支援を行う上での重要な思考過程を学び、理解ができる。 ※実務者経験:①医療機関に所属していた。主業務は内科及び急性期医療部門を担当していた。※取得資格:看護師 ②福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護、相談支援業務を担当していた。取得資格:社会福祉士 ・ 介護福祉士							
【到達目標】 他の領域で学んだ知識と技術を総合して、生活者である利用者支援を行うにあたり、利用者情報から介護の根拠を明確にして、専門職としての生活支援を行う上での重要な思考過程を学び、理解ができる。具体的には「介護過程の意義」、「アセスメントとケアプラン」、「アセスメントの捉え方」、「情報(プロセスレコード)」について理解できる。							

授業計画・内容	
1回目	「介護過程の展開とは」…対象者の生活の過程を展開することについて、深く理解することができる。
2回目	「介護過程の意義①」…対象者にとっての課題とはなにかについて理解できる。
3回目	「介護過程の意義②」…生活上における目標と目的について理解できる。
4回目	「アセスメントとケアプラン」…ICFの理解(概念と相互作用の考え方)について理解できる。
5回目	「アセスメントとケアプラン」…ICFの理解(基本モデルと情報収集)について理解できる。
6回目	「アセスメントの捉え方①」…アセスメントの進め方について理解できる。
7回目	「アセスメントの捉え方②」…基礎情報の整理及び分析の考え方について理解できる。
8回目	「アセスメントの捉え方③」…基礎情報の整理及び分析の考え方について理解できる。
9回目	「アセスメントの捉え方④」…介護の目標(短期目標)の設定方法について理解できる。
10回目	「アセスメントの捉え方⑤」…介護の目標(短期目標)の設定方法について理解できる。
11回目	「情報の理解①」…プロセスレコードについて理解できる。
12回目	「情報の理解②」…プロセスレコードについて理解できる。
13回目	「アセスメント演習①」…対象者の生育歴(自分史)について理解できる。
14回目	「アセスメント演習②」…事例を通して、援助職に必要なアセスメント能力について理解できる。
15回目	「アセスメント演習③」…事例を通して、援助職に必要なアセスメント能力について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書: 新・介護福祉士養成講座⑨「介護過程」(中央法規出版)	